



ほほえみいっぱい運動 vol.49

健康な生活とご縁は人生の倅

年前の平成十四年。お電話でほほえみ読本のご用命を承つた事が御縁でございました。円覚寺で定期的に開催されている日曜説法は、毎回三百人を越える方がお見えになり、多い時は千人になることもありました。その御法話の中で、私の手掛けられたほほえみ読本のこと、それから両親のことをお話いたしました。

母が元気だったころ、日曜説法での御老師様の御法話をお聴きするのに、長野から何度もこの地をお訪ねしました。母と歩いたあの頃と全く変わらない風景に、初めてお訪ねした日が走馬灯のように蘇えり、歩きながら小雨と相交わった涙が頬をつきました。



雪田幸子様撮影

おかげさまいはい

六月紫陽花が咲くころ、足立大進御老師様をお訪ねすべく、母の月命日に小雨の北鎌倉の円覚寺様に参ります。

父母は「もつたいないほど光栄なことだ。」と申し、再度御老師様に御礼にとお伺いました。

みでお迎え頂きました。

身長は測る事が出来る

ありかたに

もつたいない

おもひやり

丹雘大巡

恩返しすること、次の世代に恩
送りの生活をする事。自分の命
がたくさんのご縁とお陰に生か
されてると気がついたときに、自
分の命の全てをかけて、この世界

いました。
鎌倉の足立大進老師様をお
訪ねして、今も私の心に父母亲が

の鎌倉駅で観光客と学生たちの雜踏を、楽しみながら御老師様のお言葉「おかげさまいっぽい」の気持ちで長野への帰路につきました。



臨濟宗円覺寺派前管長

足立大進

昭和7年、大阪市の歯科医の次男に生まれ
花園大学卒業後、円覚寺道場に掛搭。
昭和55年、臨濟宗円覚寺派管長に就任。
平成22年、管長を退任し現在に至る。
著書に「もう死んでもいいのですか、
ありがとうございます」「安心」の道しるべ
「ありがとう」と人生」、編書に
「禅林句集」「即今只今」などがある。

卷之三

たかつた人の明日
日である…と
その御老師様
のお言葉に触れ
亡き父母に感

亡き父母に感謝の気持ちで手を心の中で合わせました。



記・狩野万葉

2002年6月9日 円覚寺 伝宗庵にて
左:狩野万葉 中:足立前管長 右:狩野英子